

中学校適正配置（学校再編）の意見交換会の概要

期 日	平成 25 年 2 月 19 日（火）	時 間	19：03 から 20：43 まで
場 所	本城中学校 美術室（本城中学校区）		
出席者（学校関係者を含む。）	27 名		
事 務 局	教育委員（教育長を含む。）5 名 学校政策課長、学校政策課長補佐、学校政策課指導主事、施設係長、教育総務係長		
No.	質 問	教育委員会説明・回答	
1	保護者の意見は大事だと考えるが、アンケートは必要だと考える。答申内容とかみ合わないと思う。	前回は各地区で保護者から意見をいただいたが、今回は全市内の住民への説明機会として設定させていただいた。今後もアンケートは考えていない。こういう機会を通して直接ご意見を伺うことを基本的には考えている。新しい学校を作っていく場合には保護者のご意見を計画に取り入れていく必要はある。ご意見をいただく機会を作っていきたい。	
2	スクールバスは今後具体的に詰めていくと思うがその考え方は。	小学生にあつては 4 k m 以上、中学生にあつては 6 k m 以上離れたところから通っている子どもについては、市から一部補助している。6 校ある中学校が何校になるかは決定していないが、6 km 以上がスクールバスの対象となるのではないかと想定している。	
3	学校と地域がそれぞれの学校ではつながりがあったが、大規模校になった時に、例えば本城地区の地域の方は新しい学校とどうかかわっていくのか。郷土愛とか地元に戻ってきたいと思える子どもを作るためには、地域の人ともつながっていくべきではないかと考える。地域との関係性、つながり方が目に見えないが、考え方は。	中学校が統廃合されれば、本城中学校と地元の住民の方の地域とのつながりが遠くなることで愛着心が薄れるのではという懸念がある。しかし、統廃合されていく学校については、その学校が地域の学校であるという意識を住民には持っていただき、これまで以上に新しい学校と地域とのつながりを作っていただきたいという思いがある。新しい学校になっても伝統芸能を受け継いでいけるような学校に作っていかなければいけない。	
4	市にどのようなメリットがあつて 1 校	経済面も絡んでいて一概には解決は見つか	

	にするかわからないが、子どもたちのことを考えるのであれば、まずは今ある問題から解決していかないといけないのではないのか。	っていない。どこの先生方も一生懸命やっていたいて一人ひとりをしっかり見ている。子どもたち自身では解決できない家の仕組みのこととかを社会的に何とかできないかと求めたりするが、手を出せないようなこともある。学校に行きづらい子どももいるが、減ってきている。専門の先生も学校にはおり、何か相談したからすぐに解決まではいかないが、問題解決に向けて取り組んでいる。地域と学校、学校と保護者は同じ気持ちで関わったり関わらなかつたりしていく、学校のあり方が求められる。メリット、デメリットがあるが、人数が増えても少人数指導はしていきたいし、1人ひとりには十分関わっていきたいと考える。両方のメリットを可能な限り取り入れるような体制を整えていきたいと考える。
5	意見交換会で本音を語れない人へのアンケートは必要ではないか。それぞれの地域住民、自治会に呼びかけて、本音を引き出すようなアンケートが必要ではないか。	今のところ、アンケートは考えていない。しかし、皆さんの考えは教育委員会としても門戸は開いていきたいと考えている。再編の方向ではしっかり検討していきたいし、皆さんの率直なご意見も連絡いただき聞かせていただくこともしていきたい。教育委員会の中でも協議がなされて、意見交換会を開催して意見を聞く機会を設けるので必要ないのではないかという意見の一致をみて、その考えはないということでお答えしている。
6	再編はする方向なのか。反対意見は通らないのか。	学校再編は進めていく。審議会の中でもそのように答申がなされているので、ただ6校を何校にするのかは決定していないが、学校再編する方向で進めていく。
7	学校数とかどこに作るのかとか今の施設を使用するのかとか、どういう案が出ているのか、その考えを聞きたい。	教育委員5名で、定例的に毎月1回開催している。具体的な学校再編は串間市小中学校規模適正化審議会の答申が昨年1月の末に答申され、その時から事務局がデータを集め、出そろったのが5月であり、それから協議をしてきた。場合によっては臨時

		<p>の教育委員会を開催している。教育委員のそれぞれの意見があり、1校案でいいのではないか、あるいは特別な意識感情があれば徐々に統廃合をしていった方がいいのではないかという意見もある。教育委員会は合議制の機関であるので、一つにまとめて教育委員会で決定された案件は一つの答えをもって決定していくので、議論をしているところである。まずは、中学校のあるべき姿を決めていった方がいいのではということで基本計画や実施計画を作っていくが、実施計画の中で学校数を盛り込んでいく。6校を何校にするという案がまとまっているわけではない。</p>
8	<p>福島地区にできたとして、スクールバスを利用するとなると、道路から見えないところに住んでいる人はそこまで送り迎えをしないといけない。これから地元の小学校、中学校に出したいから本城に帰ってこようとしている人も、不便なところにかえってくるよりは福島地区にいた方がいいと行って、本城地区の人自体が減っていくような気がする。本城地区の人が少なくならないようになってほしい。</p>	<p>スクールバスは、まったく負担がかからないとは言いきれないが、できるだけ負担がかからないように、保護者のご意見も聞いて決めていきたいと考えている。</p>

No.	意見等
1	<p>特に地域色が強い学校では意見が言えない、だれか誰かわからないような大きな学校では意見も出せると思う。話した人だけの意見が通ることにはならない。</p>